

【イースター礼拝とイースター特別賛美について】

*イースター礼拝 4月9日(日)

第1礼拝と第2礼拝を実施。
オンライン配信は第1礼拝です。

*イースター特別賛美

・実施 第2礼拝にて対面

(奉仕者はマスクを着用して歌う)

・練習日 3/19、4/2

・練習時間 13時〜14時半 礼拝堂

(練習に出られなくても参加可能)

・申込先 山口光兄、戸梶姉、荻野兄

【教会のコロナ対応について】

政府が3月13日以降のマスク着用の考え方について緩和する内容を発表し、社会の状況も変化を見せています。

一方で、厚労省のホームページでは、高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐために一定の条件におけるマスク着用の推奨も示されています。

こうしたことを鑑みて、蒲田シオンでは次の通りとします。

*礼拝で歌う際にはマスク着用を継続

*4月以降は、主の祈り、交読、使徒信条などの発声を伴う部分を含めて、歌う時以外はマスクを外しても構わないこととします。

【報告 消息】

・池上散策〜池上梅園と

26日の午後、まだ冷たい風が吹きつつも日射しは春を感じさせてくれました。参加者は32名！久しぶりの野外プログラムということで、10代から80代までと幅広く多くの方が参加されました。池上本門寺にはクリスチャンやキリシタンゆかりのお墓が多く、金川兄の案内で巡りました。梅園は300本以上の梅が咲き誇り、とても見事でした。帰り道ではくず餅などのお土産を買う方々もあり、参加者からは「大田区にこんな場所があったんだ」「まるで小旅行だった」という声が拳がっていました。楽しい時を持てたことを感謝します。礼拝堂掲示板に写真を掲示しています。

【映画鑑賞会】(主催 ミモザ会)

映画「われ弱ければ 矢島楯子伝」

原作・三浦綾子 主演・常盤貴子

出演・石黒賢、竹下景子ほか

(2022年公開映画)

日時 3月16日(木) 午前10時より

会場 大田区民ホール「アブリコ」

チケット 1,000円

映画会後は、希望者には食事会も予定(3千円)。ミモザ会でとりまとめます。参加希望の方はご連絡ください。

イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲がった時代だ。いつまで、わたしはあなたがたと一緒にいて、あなたがたに我慢しなければならぬのか。あなたの子をここに連れて来なさい。」

ルカの福音書 9章41節

マタイ、マルコ、ルカの3つの福音書(共観福音書)は一樣に、山でイエス様の栄光が光り輝いた様子、いわゆる「変貌山」の出来事を記します。3つの福音書が記すのはそれだけではありません。変貌山の直前には受難の予告があり(ルカでは九22)、変貌山からイエス様は明確に十字架へと向かっていきます(51)。しかも、ルカの福音書は変貌山においてイエス様とそこに現れたモーセとエリヤとが、イエス様の「最期」

(31)、つまり十字架について語り合っていたと記します。

私たちのために十字架を担い、罪を背負

われたイエス様は栄光に包まれた神の子であり、その栄光の主イエス様が、受難の道を進み、私たちのために傷つき、ご自身を死に渡されました。イエス様にとって栄光と十字架は切り離せない関係です。受難節にあたって、栄光に満ちた神の子でありながら罪人の苦しみを負ったイエス様の姿を思い起こしたいと思います。

山の上(28〜36)と山の下(37〜45)は非常に対照的で、まさに天の御国と罪人の世を描いています。「山から下りる」(37)とは地上に降誕されたイエス様の姿です。天の栄光を離れて、人々が罪に苦しむ混沌

とした世にイエス様は下ってこられました。山の下にあったのは、悪霊に苦しむ子どもであり、子どもを助けられない親・大人であり、無力な弟子たちであり、真の神への信頼が失われた曲がった時代でした。神の子イエス様が深いため息をついて不満をこぼさざるを得ない残念な状況です。

それでも、イエス様は苦しむ子どもを招き寄せて癒してくださいました。ここに神の忍耐深い愛を見ます。人間の不信仰に、もういい加減にしてくれ、と叫んで放り出してもおかしくないと思われるところで、なおもイエス様は人間の救いのために尽くしてくださいます。その極みが十字架でした。私たちは、十字架に示された神の忍耐深い愛によって救われて命を得たのです。(泰)

3月5日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野牧師 美名子姉

招 詞 エレミヤ書 33章 1、2節

会衆賛美 聖歌 443

会衆賛美 大いなる方に(2回)

主の祈り

交 読 詩篇 140篇 1〜8節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 ルカの福音書

9章 28〜45節

説 教

栄光と混沌 荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌 386

献 金

頌 栄 聖歌 376

祝 禱

報告

後奏 感謝祈禱

【招 詞(主の招きのことば)】

エレミヤ書 33章 1、2節「地を造った主、それを形造って堅く立てた主、その名が主である方が言われる。『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』アーメン

【本日の予定】

●礼拝映像ネット配信 9時から

●第1礼拝後、第2礼拝後

会堂清掃

●小学科礼拝 3階 10時半

お話し 穂谷牧師

●ホザナ礼拝 6階 10時半

お話し 林修養生

●バイブルカフェ 12時 15分

●第60回教団年次総会
礼拝堂 15時

【本日の礼拝奉仕者】

●第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 林修養生

配信

●第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場
受付

【次週礼拝説教】 荻野牧師

ピリピン人への手紙

2章 1〜11節

「仕える主」

本日のお花は「ミモザ」です。
お庭に咲いた花を提供いただきました。感謝。

【第60回教団年次総会】

本日午後は、教団の第60回年次総会です。今年は理事改選も行われます。教団の働きとシオン6教会の祝福のために祈りください。

【トルコ・シリア大地震緊急支援】

28日夜に、ワールド・ビジョンによる「緊急支援オンライン報告会」が行われ、荻野牧師が出席しました。現在、ヨルダンのオフィスで支援活動に携わっている渡邊スタッフよりレポートがありました。

ワールド・ビジョン(以下、WV)が支援活動を展開している場所は、シリア西北部です。10年ほど前のシリア危機以来内戦が続いています。特に北西部地域には国内避難民が集中し、人道支援を必要とする人が震災以前から410万人にいます。WVはすでに支援活動を行っており、28日の報告者の渡邊スタッフも7年間現地での活動に携わっています。今回の震災による北西部地域の被害状況は死者4500人以上、負傷者8500人以上、全半壊した建物は1万軒を超えます。ガレキの撤去が進まず、死者は増える見込みです。一般の報道にもあるように、政治的な事情で支援が届きづらい状況です。気候は東京よりも寒く、今はまだ暖房器具や防寒具が必要です。しかし、建物の倒壊を恐れて多くの人が寒い中でもテントに避難しています。

難民キャンプは下水環境が不衛生で、昨年9月からはコレラが流行。今も感染はじわじわと拡大しています。ウクライナ情勢も打撃で、小麦粉と燃料が高騰しています。

このような状況下でWVは震災発生2時間後に医療施設や被災者に燃料、食料、暖房器具を緊急で提供。その後も支援活動が続いています。WVのスタッフも被災者です。現地スタッフの一人は、家族が建物の倒壊で死亡。痛みを負いながら支援活動を続けているそうです。

そうした中で、日本からの募金にはとても励まされると仰っています。多くの方が背後にあることはスタッフを勇気づけるとのことです。報告会の最後にWVジャパン事務局長 木内(きない)氏より挨拶がありました。そこで語られたのは、地震の怖さを知る日本人として、シリアの被災者にあなたはどんな言葉を掛けますか?との問いかけで、とても考えさせられました。

今年も3月11日を迎えます。震災を知る者として遠くてもトルコとシリアの被災者を「隣人」と覚えて祈り、支援を継続したいと願っています。報告会の録画が配信されています。

【東日本大震災の被災地・被災者を覚えて祈りましょう】

今週末は3月11日。今年もこの季節がやってきました。震災発生から12年になります。あの日、あの時を思い出し、様々な思いが交錯する日でしょう。彼の地を覚えて祈りの手を挙げましょう。